

☆ 風良里の桜ももうすぐ!!



♪ 順調にふくらむ桜のつぼみ。開花ももうすぐだよ!!

今年は大分県に先を越されたものの、桜の開花予想ではほぼ毎年全国一番早く、あんまりいいことで一番がない高知県としては、数少ない喜べる指標となっています。

昨日 15 日には高知の桜も開花宣言。

ここ風良里の上段駐車場外周の桜も画像のようにほころび始め開花ももうすぐで、来週末には見頃に。

お立ち寄りいただだけでお花見が楽しめます。ぜひお立ち寄り下さい。

☆ ちょっと(かなり)残念、、、



● 残念無念、でありました。

風良里本館裏の水路に架かる小橋の上でこんなもの発見。今や貴重な水棲昆虫『ミズカマキリ』と思われるのですが、大変残念なことに土佐弁で言えば『しけちよった』んです。標準語に翻訳するならば『(誰かに)踏み潰されていた』ということになります。昔、私達が子供だったころには、このような水棲昆虫も結構身近におり、タガメ、ゲンゴロウ、タイコウチやこのミズカマキリなども見かけたものですが、今や絶滅の危機に瀕しているものも多数。何とか守りたいこのような自然の形なのですが、、、

猫のしっぽ 訂正。先週号本コラムで『トルコ行進曲』をイ単調と書いてしまいましたが、そう、お判りのとおりイ短調が正しいです。単調だなんて、そんなことはありません。モーツァルトさん、ごめんなさい。蛇足ながら同曲、途中でイ短調(Am)から転調してイ長調(A)で終曲いたします。

転題、最近読んだ本で中勘助の『銀の匙』は良かった。一人の少年の成長をその少年自身の視点で描いたもので、淡々とした筋立てのなかに見事な表現がちりばめられ、思わず宝箱にそのまま仕舞っておきたくなるような作品。殺伐とした世相のせい、最近では小説やドラマなど見たくもない題材や描写のものが多く、そんなことが当たり前で結構受けているような風潮。別に刺激が強くないでも今風でなくてもいいので滋味豊かな作品が読みたいという方にはお勧めいたします。風猫子